

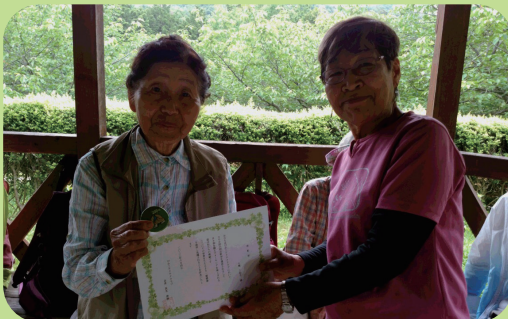
# 年に一度は



# に恩返し

## 全国一斉クリーンハイク（清掃登山）

クリーンハイク（全国一斉清掃登山）が開始された1974年は、光化学スモッグの発生延日数（都道府県単位）288日で歴代2位など、公害による環境悪化が問題になる時代でした。日本勤労者山岳連盟では、そのような時期においても、登山の自然との関わりを深く自覚し、「山からゴミを一掃しよう」と、この取り組みを開始して50回の節目を迎えました。



### 滋賀 子どもたちも参加で 活気あふれる

なんと、8歳～88歳まで幅広い年齢層21名が御上神社に集合。やはり子ども5名（小学年～中学1年）が参加すると、活気があります。

まずは、天保義民碑へ。地元のお年寄りが詳しく説明していただきました。その方も一緒に頂上を目指す健脚コースと麓を歩くゆったりコースに分かれ清掃登山開始。

昼食後は、米寿を迎えた小嶋三千子さんの200回表彰とメッセージの代読。最後にこどもたちへのサプライズとして熊本さん登場。またまた楽しいマジックを披露して拍手喝さいを浴びました。

#### ゴミ回収

可燃ごみ1.5キロ 不燃ごみ500グラム 瓶3個  
ペットボトル3本（びわこテクテククラブ・星操）



北海道

## 藻岩山スキー場 清掃登山に行ってきました

5月28日、北海道勤労者スキー協議会から「藻岩山スキー場の清掃活動」に参加しました。ゴミ袋と火箸を受け取り、ゴミとわらびを探しながらクリスタルコースを登り、観光道路を經由してうさぎ平を下りゴミ拾いを終わりました。エゾハルゼミとツツドリが鳴いていて蒸し暑かったです。来年はみんなで参加したいですね。(大野祥子・北海道勤労者スキー協議会「北のシュプール」より)



ゴミと一緒にわらび・ウドも拾ってきました



秦野戸川公園の吊り橋をバックに

## 神奈川 プリンも楽しめた清掃登山

5月28日、神奈川ウォーキングクラブは、「丹沢クリーンハイク」(神奈川県勤労者山岳連盟主催)に参加しました。各グループ、ゴミ袋と軍手を持ってスタート。途中、観音茶屋で秦野で取れた牛乳を使ったプリンで小休止。また、見晴らし茶屋でコーヒーを頂きました。



観音茶屋でプリン



村おこしの一環として整備された秦野の名水「葛葉の泉」



ロッジ風の見晴茶屋

富山

## 天候に恵まれ さわやかな清掃登山

6月4日、富山三島野スポーツクラブは、「全国一斉クリーンハイク小佐渡御前山」を実施しました。ごみ袋を腰につけ元気よく、新緑深き木漏れ日さわやかに階段を何度となく登り、メンバーの高らかに弾む会話を楽しく聞きながら御前山へ。さわやかな天候に恵まれ楽しい里山歩きとなりました。

参加者からは「病気からの復帰クリーンハイク。仲間と一緒に歩けた喜びに感謝」「登山道にはほとんどゴミが無く気持ちよかった」などの感想がありました。



## 三重 記録的大雨の影響も少なくゆっくり登山

愛知、三重両県の勤労者山岳連盟主催による第51回鈴鹿山系清掃登山に31名(内新人さん11名)が御在所岳の清掃登山に参加しました。

御在所岳の登山は大人気のため、土、日曜日は6時半には駐車場が満車状態です。

金曜日の記録的な大雨の後の登山。土砂崩れ、登山道の崩壊が大変心配になりましたが、異常もなく、青空の大快晴、涼風の下、誰一人、事故も体調不調もありませんでした。

深緑とヤマツツジ、ベニドウドン、サラサドウダン、イワカガミ、ハルリンドウ、タニウツギに癒されながら、百問滴のマイナスイオンを浴びながら、安全を確認しながら、ゆっくり、ゆっくりの歩きでした。

ゴミは山にはまったくなく、キャンデーの空袋が少し、武平峠登山道から表道登山道への車道下の巻道に入ったら、ポイ捨て缶、ビニール袋、錆びた傘が土の中から3本、家庭用ゴミも。頂いた軍手でゴミ袋へ。

燃えるゴミ3キロ、燃えないゴミ1キロ、合計4キロ拾いました。(三重県連盟「三重通信」より)

